

# 「遠賀スタイル」の授業の推進

## Plan 「遠賀スタイル」の授業とは？

生徒にとってわかりやすい授業を展開するため、授業の進め方について具体的な共通項目を設け、全職員で授業における4つの基本姿勢として「**シンプル・クリア・ビジュアル・シェア**」の授業スタイルを定着させています。また、統一した授業展開を行うことで、座学において、集中力や興味・関心が持てる授業形式の基本形態を定め、生徒の学習が主体的・対話的で深い学びとなるよう取り組んでいます。

### シンプル (simple)

簡潔であり、複雑な表現は用いない授業

### クリア (clear)

明快であり、目的までが透き通っている授業(めあて)

主体的・対話的で深い学びの実現

### ビジュアル (visual)

視覚的、映像的、かつ体験的な授業 (ICT機器の活用)

### シェア (share)

知識を共有し、ともに学び合う姿が見える授業

## Do 統一した授業の展開(基本姿勢)

- ア 授業の始まりに、本時の「**目標(めあて)**」の明記
  - イ 5分程度の授業の目標・概略の説明
  - ウ 5分程度の前時の学び直し
  - エ 15分程度の講義
  - オ 10分程度の演習・作業・グループ学習、討議等
  - カ 10分程度の生徒との発問・応答・発表等
  - キ 5分程度のまとめと次回の予告等
- (ア,イ,ウ,キは共通して確保、エ,オ,カは柔軟に対応)



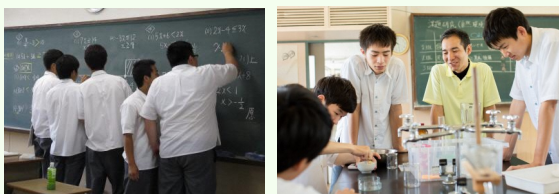
福岡県教育センター ふくおかAL通信第13号で本校が紹介されました!!  
福岡県教育センターHP(新たな学びプロジェクトトップページからダウンロードできます)

## Do&Check 今年度の取組

平成30年度 特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業研究校に指定

- 学校経営スーパーバイザー  
元兼 正浩 氏 (九州大学教授)
- 特別支援教育スーパーバイザー  
本田 康之 氏 (本校元特別支援教育就職支援コーディネーター)

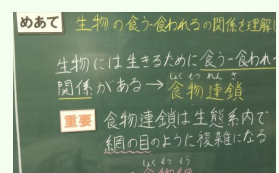
- (第1回学校経営構築研究地域運営協議会からの助言)
- ・「遠賀スタイル」の授業がどこまで先生方に浸透しているのか。板書の書き方、指示の出し方等に統一感がない感じがした。
  - ・若い先生が多いので、「遠賀スタイル」がきちんと浸透すれば、今後の学校の財産になる。



## Action 今後の改善案・課題

### (1) 「遠賀スタイル」の統一

- 生徒が聞き直したり、迷ったりしない「**明確な指示**」を行う。プリントに関しても板書と同じものを作成する。(シンプル・クリア)
- プレートは積極的に活用し、**キーワードのプレート**も各教科担当で作成すると分かり易く時間節約になる。(クリア・ビジュアル)
- ICTを積極的に活用**する。1時間全てを使う必要はない。映像や写真でもよいし、**実物を使用**してもよい。(ビジュアル)
- 1時間の板書計画を行う。できる限り一度書いたものは消さず、板書を見れば、授業内容が解るように心掛ける。(ビジュアル)



### (2) その他

- 教室の環境整備**を徹底する。落ち着いた環境で行うことは授業改善と並行して行わなければならない。
- 生徒の限界を決めず**に、できる限りの支援を工夫していく。
- 学年、教科の枠を越えて、**積極的に生徒と関わり**、人間関係を構築し指導(人権感覚)ができる関係づくりを心掛ける。